

GPA制度

GPA（Grade Point Average）とは所定の換算ルールに基づき算出されたGP（Grade Point）の平均値を示したものです。単位制度における学生の「学習の質」を示す指標となり個々の学習状況をより明確にする目的とし本学部においても導入しています。

GPAは、本学部における進級判定、卒業判定、退学勧告等の様々な学内選考の指標の1つとしても扱います。また、留学する際に海外の受入大学が受入条件として設定していることが非常に多いため、注意が必要です。

指標	合格				再試験合格	不合格
評価	S	A	B	C	C	D
素点	100～90	89～80	79～70	69～60	60	59～0
GP	4.0	3.0	2.0	1.0	1.0	0.0

具体的な計算方法

$$\frac{(4.0 \times S \text{の修得単位数}) + (3.0 \times A \text{の修得単位数}) + (2.0 \times B \text{の修得単位数}) + (1.0 \times C \text{の修得単位数})}{\text{総履修登録単位数（「不合格」の単位数を含む。）}}$$

* GPAの算出対象についてはP.32「◆成績について」のページも併せて参照してください。

◆GPAの対象となる科目について

GPAの対象となる科目は、次に掲げる授業科目です。

- ・ 5段階評価によって成績認定される授業科目であって、卒業要件に算入できる授業科目
- ・ 本学在学中に他の大学において履修した授業科目又は外国の大学において学修した成果であり、上記の要件を満たす授業科目（ただし、成績評価T（認定）は、GPAの対象外）

◆GPAの対象とならない科目について

GPAの対象とならない科目は、次に掲げる授業科目です。

- ・ 「認定」又は「合格」、「不合格」の評語により評価した科目
- ・ 履修中止科目
- ・ 履修中（成績保留）の科目
- ・ 卒業要件に算入しない科目（教職専門科目である「教育の基礎的理解に関する科目等」など）